

先週から始まったオリンピックは毎日、感動的な試合が続いていますね。男子フィギアスケートでは、羽生選手の4回転半のジャンプへのチャレンジ、スノーボードハーフパイプの平野選手の滑りは圧巻でしたね。スピードスケートの500mでは、男女ともメダルを獲得しました。今週もS先生が「推しオリンピック」をつくってくれています。実際に試合をしている時間に見ることは難しいかもしれませんが、ニュースなどでたくさん取り上げられていると思いますので、ぜひ見てください。

ところで、先生は試合に負けた人がどのような気持ちなのかな？ということがよく気になります。先週の月曜日に行われたスキージャンプ混合団体の試合についてのお話をします。ジャンプ混合団体という競技は男子2人、女子2人がジャンプを2回ずつ飛んだ合計得点で争われる試合です。その中で、高梨選手の着ていた試合用のスーツがルール違反となり、失格となりました。高梨選手は自分のせいでメダルが取れなかったために、Instagramに真っ黒な画像で自分の気持ちや謝罪の気持ちを掲載しました。

「高梨選手の投稿謝罪文」

みなさんは、この謝罪文から何を考えますか？オリンピックやサ

サッカーの W 杯などの大きな試合では、国を代表して戦う姿に感動させられます。勝って結果が出た時はいいのですが、負けた時には悪口を言われたり、批判されたりすることがよくあります。先生はどのような結果であったとしても、この試合に向けて長い間、努力をしてきたことに大きな価値があると思います。とても沈んだ気持ちの中で飛んだ、高梨選手の 2 本目のジャンプや飛び終わったあとの涙にとっても心を動かされました。

生きていく中で、他の人を応援する機会は今後もたくさんあると思います。低学年には少し難しいかもしれませんが、今日のこの高梨選手の謝罪文から、応援する側の態度やスポーツとの向き合い方について考えてみてください。